

上椎葉ダム完成50周年
全国ダム湖百選認定 記念特集



椎葉の歴史に大きな足跡 「上椎葉ダム」

149億円の巨費と延べ人員500万人をかけて、昭和30年に日本初のアーチ式ダムとして完成した上椎葉ダム。九州の重要な電源供給施設として戦後の産業振興を支え、同時に村の発展にも大きく貢献しました。

今年で完成から50周年を迎え、全国ダム湖百選への認定、また記念式典が行われるなど上椎葉ダムを見つめ直す節目の年となりました。

完成50周年記念式典

5月27日、女神像公園で九州電力株主催のダム完成50周年を祝う記念式典が行われました。同式典には、建設に携わった企業や本村関係者など30名が出席。式典ではダム建設工事で尊い命を失った殉職者を追悼し、また今後のダム運営における無事故を願った安全祈願祭を行いました。終了後、記念祝賀会を行い、村の歴史に刻まれた大事業の建設当時を偲びながら、半世紀を経た節目の年を祝いました。



▲女神像公園慰霊塔前で行われた安全祈願祭

全国ダム湖百選認定

今年3月に全国ダム湖百選に認定された「日向椎葉湖」。このほど同百選を主催した(財)ダム水源地環境整備センターから認定証と認定プレートが届きました。認定証は村長室に飾られ、プレートはダム湖を望む女神像公園の一角に石碑として設置。今回、本村で建築設計事務所を営む尾前一日出さん(若宮住宅)に石の提供から取り付けまで全面的な協力をいただき、また設置時には建築業の那須新治さん(十根川)にもボランティアで支援していただきました。誠にありがとうございました。皆さんも、公園を訪れた際にはぜひご覧ください。



▲設置された「ダム湖百選」の石碑

